

「国土交通省公共事業コスト構造改革プログラム」

【施策名：（２）計画・設計から管理までの各段階における最適化 【１】計画・設計の見直し】

主桁形式の見直しによるコスト縮減

工事名：調整池横断橋梁上部工工事

概要：（従来）

コンクリートT桁を3桁使用

⇒

（新）

コンクリートT桁を2桁+高強度コンクリート
間詰め

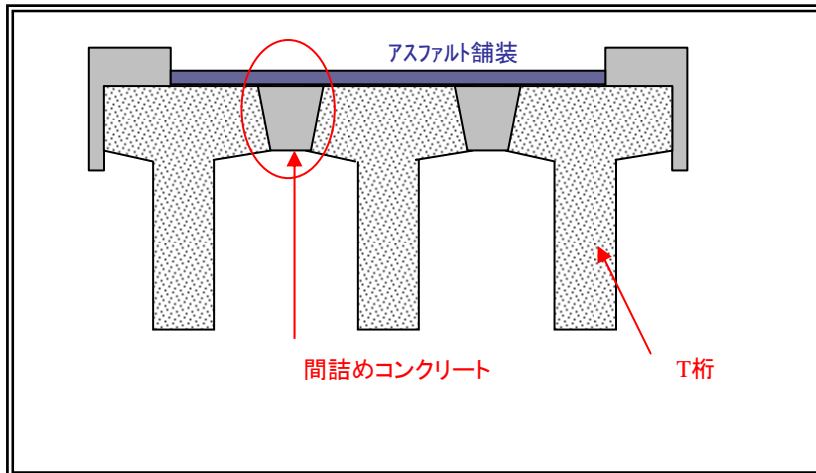
効果 ○桁数の減少に伴う上部工の軽量化。

○桁数を減らすことにより桁費の削減が可能。

■工事費を21百万円から15百万円に縮減。

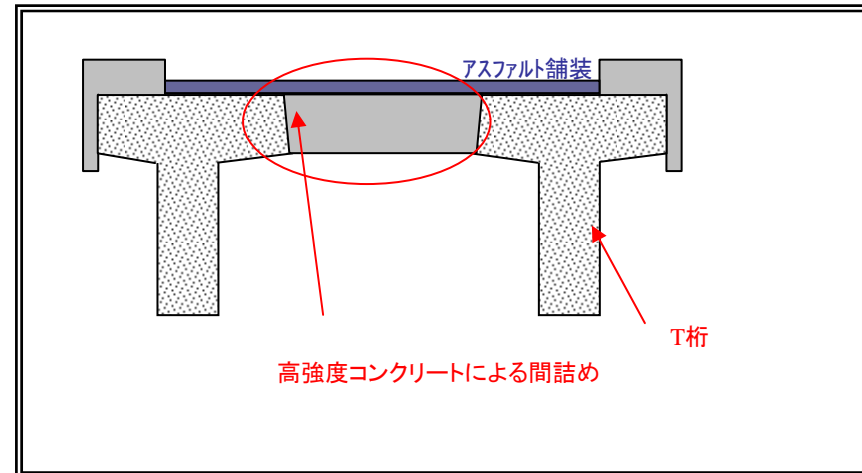
（縮減額 6百万円、縮減率 約27%）

従来工法



間詰幅によって桁の数を決定。

縮減工法



間詰部分に高強度コンクリートを使用することにより桁の数を減らす。